

ESG 投資指数「FTSE Blossom Japan Index」および 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定

株式会社東海理化（本社：愛知県丹羽郡大口町、代表取締役社長：二之タ 裕美）は、この度、ESG（環境・社会・ガバナンス）のグローバル基準を満たす日本企業を対象とした株価指数「FTSE Blossom Japan Index」および「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました。

FTSE Blossom Japan Index は 2 年連続の選定であり、グローバル インデックスプロバイダーである FTSE Russell が作成し、ESG について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE Blossom Japan Index はサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されています。

※FTSE Russell とは、コーポレートガバナンス、健康と安全性、腐敗防止、気候変動といった分野についての評価機関。FTSE Blossom Japan Index の構成銘柄である企業は、環境、社会、ガバナンスに関する様々な基準を満たしている。

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index は 2022 年 3 月の組成当初から 4 年連続の選定であり、各セクターにおいて相対的に、ESG の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラルとなるよう設計されています。また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI 経営品質スコア*1により改善の取り組みが評価される企業のみを組み入れています。

*1 TPI 経営品質スコア…企業の温室効果ガス排出量および低炭素への移行に関連するリスクと機会の管理の質を評価するもの。



**FTSE Blossom
Japan Index**



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

これらの株価指数は、日本の公的年金積立金管理・運用機関である GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）も、ESG 投資の運用にあたっての投資判断基準の一つとして採用しています。

東海理化グループは 2021 年度より、経営理念である豊かな社会づくりへの貢献、自然・地域との共生を具現化した SDGs 経営を推進しています。

重要課題（マテリアリティ）特定後、SDGs と関連付けたうえでグループ方針に反映し、経営陣による定期的な進捗確認を実施しています。2021 年 5 月より将来像への挑戦に関する説明会を継続的に実施し、カーボンニュートラル戦略など、2030 年度までの目標達成に向け取り組みを推進しています。

【当社のサステナビリティへの取り組み】

<https://www.tokai-rika.co.jp/sustainability/>

【中期経営計画「TRV2030」 説明会資料】

https://www.tokai-rika.co.jp/investors/mid-term/pdf/mid-term_business_plan_2025.pdf

<本件に関するお問い合わせ先> 総務部広報室（0587－95－5211）